

厚木市の道路に関するアンケート調査 調査結果

<調査概要>

項目	概要	項目	概要
調査期間	令和元年9月21日(月)～10月8日(金)	調査対象	厚木市居住者：400票、厚木市外居住かつ厚木市内通勤通学者：200票
調査方法	配布・回収：WEBアンケート方式 →リサーチ会社の有するモニターより上記調査対象に合致するモニターを対象に調査を実施	回収票数	600票 -内訳- 厚木市居住者：400票 厚木市外居住かつ厚木市内通勤通学者：200票

問1:回答者の属性

【問1-1】自宅住所

<設問文>
自宅住所

■回答者の住所を見ると、想定していた居住地別サンプル（厚木市居住者：400票、厚木市外居住かつ厚木市内通勤通学者：200票）を満足するとともに、市内各地域からの回答を得られた。

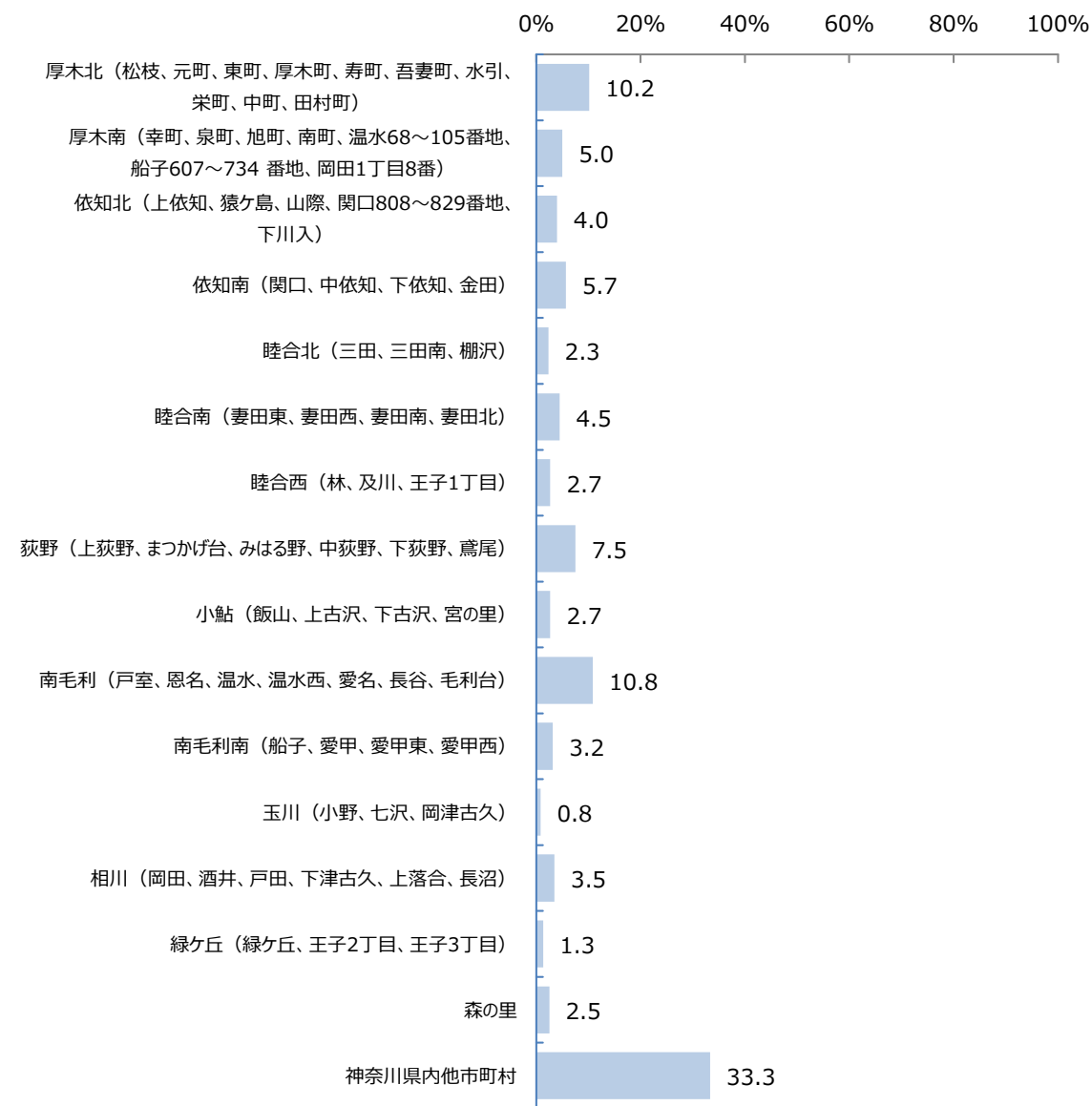


図 自宅住所

【問1-2】通学先・勤務先所在

<設問文>
通学先・勤務先の所在

■回答者の通学先・勤務先の所在を見ると、約60%が厚木市内への就労・就学者となり、市外への就労・就学者が約25%、未就労・就学者が約15%の構成となった。

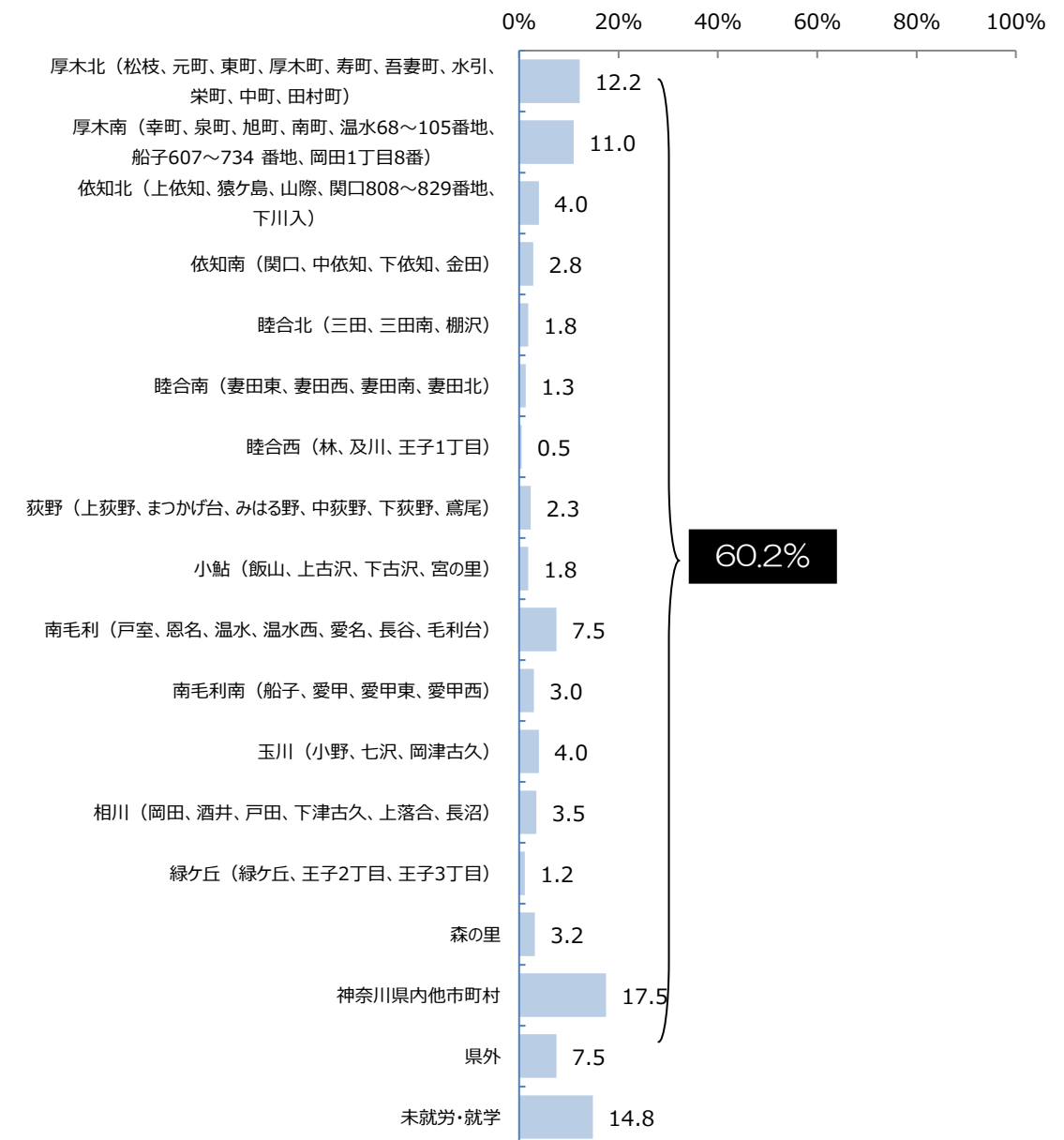


図 通学先・勤務先の所在

【問 1-3】性別

<設問文>
性別

■回答者の性別を見ると、約66%が男性、約34%が女性となり、男性の意見が比較的反映された調査結果となることを確認された。

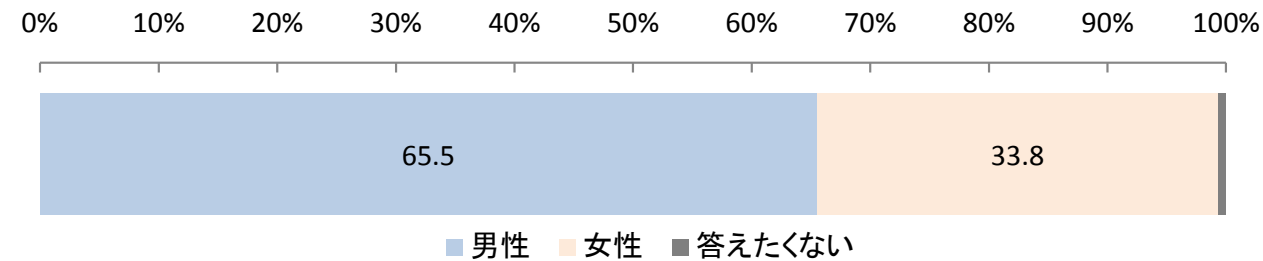


図 性別

【問 1-4】年齢

<設問文>
年齢

■回答者の年齢を見ると、40歳代が約31%で最も多く、次いで50歳代が約25%、30歳代が約19%と続き、30~50歳代の意見が比較的反映された調査結果となることを確認された。

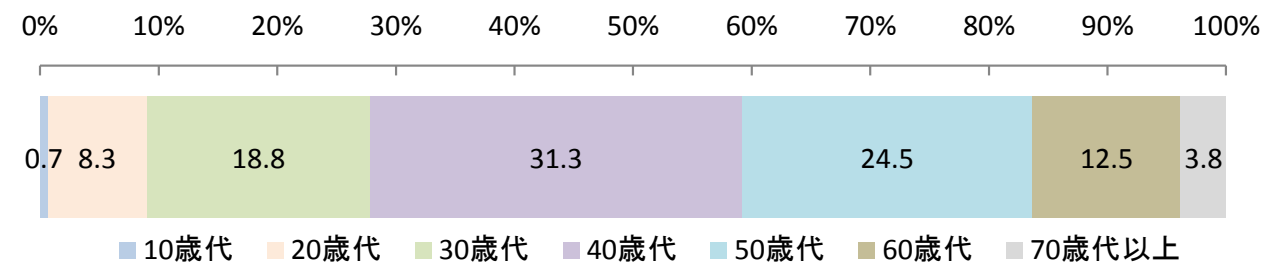


図 年齢

【問 1-5】日常の主な移動手段

<設問文>
日常の主な移動手段(複数回答可)

■回答者の日常の主な移動手段を見ると、約60%が自家用車を日常の主な交通手段として利用しているとともに、バスが約25%、鉄道が約38%と、公共交通を日常的に利用する方からの意見も確保されているなど、多様な移動手段を有している方の意見を反映した調査結果となることを確認された。

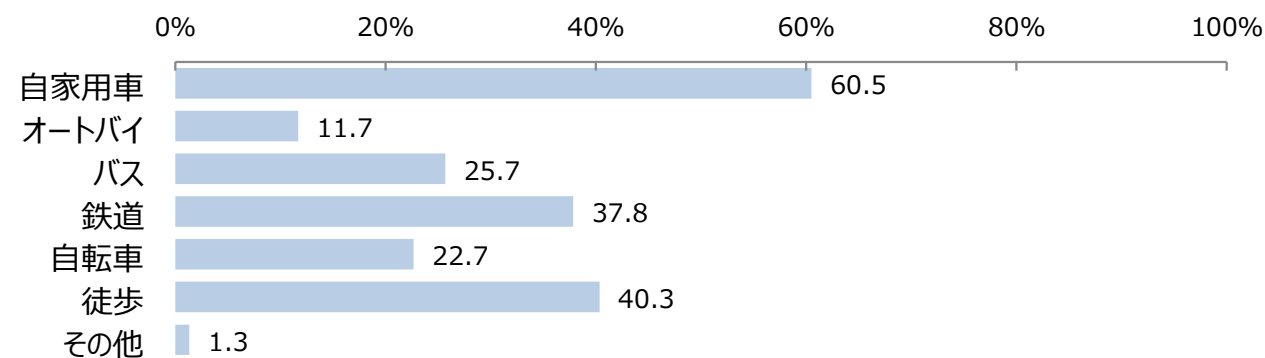


図 日常の主な移動手段

【問 1-6】市内での自動車運転頻度

<設問文>
市内での自動車の運転頻度

■回答者の市内での自動車の運転頻度を見ると、40%がほぼ毎日、約27%が週に数回程度と、約67%が多頻度で自動車を運転している状況となり、日常的に市内で自動車を運転している方からの意見を反映した調査結果となることを確認された。

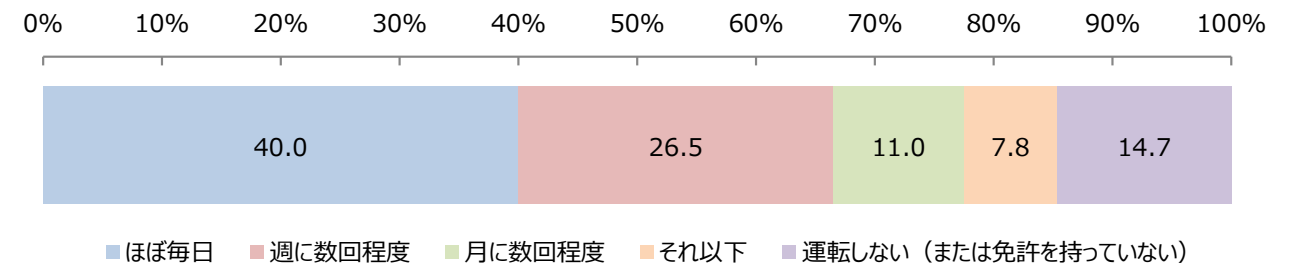


図 市内での自動車の運転頻度

【問 1-7】市内での自転車利用頻度

<設問文>
市内での自転車の利用頻度

■回答者の市内での自転車の利用頻度を見ると、週単位の利用が約22%となるなど、利用したことがあるとの回答が約50%となっている一方で、約50%は利用しないと回答、回答者の市内における自転車利用経験は半々に分かれていることが確認された。

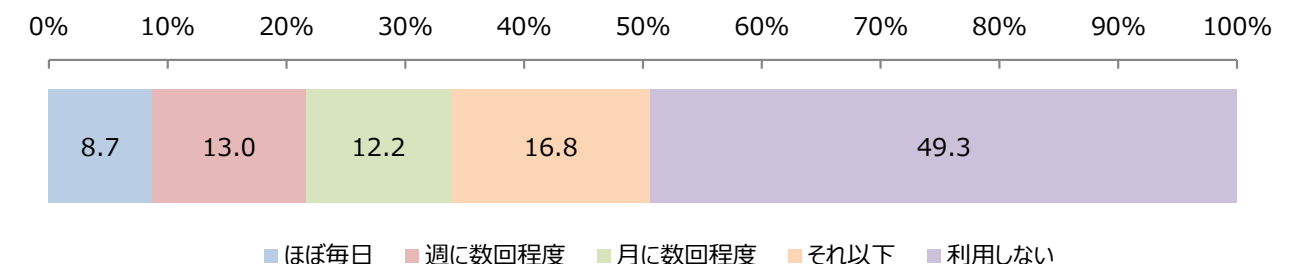


図 市内での自転車の利用頻度

【問 1-8】市内での路線バス利用頻度

<設問文>
市内での路線バスの利用頻度

■回答者の市内での路線バスの利用頻度を見ると、利用しないとの回答は約33%に留まり、週単位の利用約15%を含め、利用したことがあるとした回答が約67%となり、市内で一定のバス利用経験のある方からの意見を反映した調査結果となることを確認された。

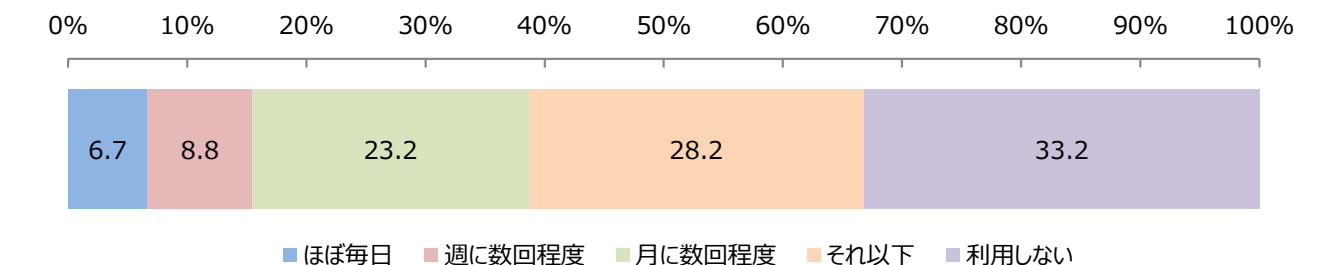


図 市内での路線バスの利用頻度

【問 1-10】市内及び近郊駅経由の鉄道利用頻度

<設問文>
市内及び近郊駅経由の鉄道の利用頻度

■回答者の市内及び近郊駅経由の鉄道利用頻度を見ると、利用しないとの回答は約 13%に留まり、週単位の利用約 34%を含め、利用したことがあるとした回答が約 87%となり、市内及び近郊駅経由の鉄道利用経験のある方からの意見を反映した調査結果となることが確認された。

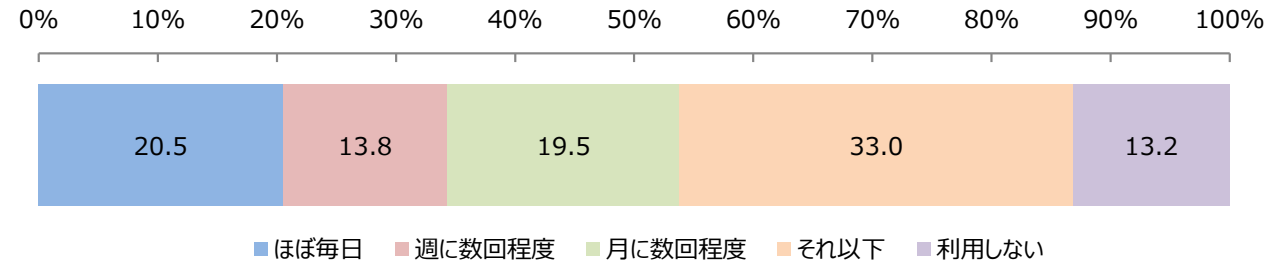


図 市内及び近郊駅経由の鉄道の利用頻度

【問 1-11】鉄道利用駅

<設問文>
よく使う市内及び近郊の鉄道駅 ※利用者のみ

■鉄道利用者のよく利用する鉄道駅を見ると、本厚木駅が約 73%と圧倒的に多く、次いで愛甲石田駅が約 13%となり、市内に立地する駅、特に本厚木駅を日常的に利用する方の意見を反映した調査結果となることが確認された。

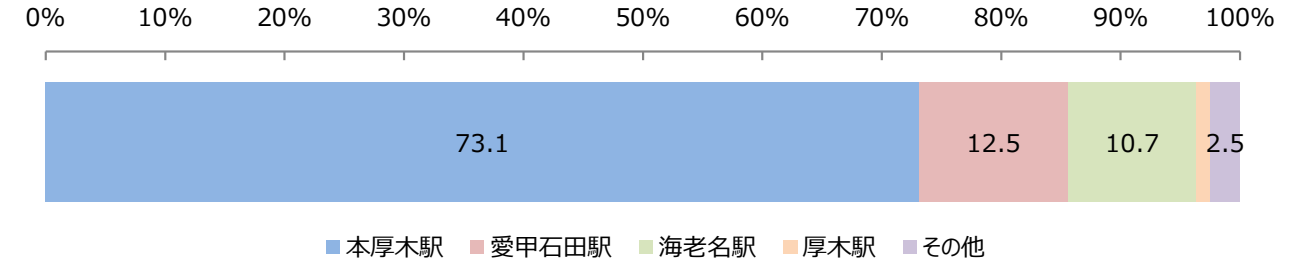


図 よく使う市内及び近郊の鉄道駅

問 2. 厚木市の道路に対する評価及び評価に関する理由等

【問 2-1】厚木市の道路に対する全体評価

＜設問文＞
厚木市の道路に対する全体評価

■厚木市の道路に対する全体評価を見ると、「満足」は約 8%に留まるなど、「やや満足」を合わせた割合は約 40%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 48%を下回る結果となり、市の道路に対して不満度がやや高い傾向にある事が確認された。

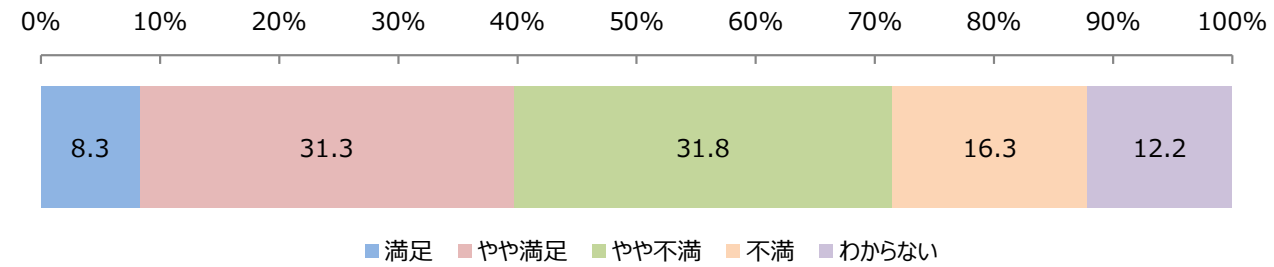


図 厚木市の道路に対する全体評価

表 厚木市の道路に対する全体評価

項目	票数	割合
満足	50	8.3
やや満足	188	31.3
やや不満	191	31.8
不満	98	16.3
わからない	73	12.2
全体	600	100.0

評価理由：「満足」、「やや満足」回答者

- 厚木市の道路に対する全体評価として「満足」、「やや満足」とした理由を見ると、道路幅員の広さなど「道路整備状況」、渋滞がない・減ったなど「渋滞」に関する肯定的意見が多くみられた。
- 一方で、満足サイドに評価しながらも、「渋滞」や「道路整備」に関し、否定的な意見を挙げた回答者も見られた。

表 厚木市の道路に対する全体評価の理由（「満足」、「やや満足」回答者）

肯定的意見		票数
分野	主な意見(抜粋)	
道路整備状況に関する意見	道路幅が広い 道幅が広く走りやすい 道幅が広くて快適 道幅が広く、舗装されている 歩道はしっかりあるし、道幅もしっかりある 結構整備が行き届いている 狭い道路も次々と拡張工事をしてきて、とても通行しやすくなっているから 舗装が綺麗だと感じる。場所によってはおしゃれなデザインで歩いていて楽しい。	22
渋滞に関する意見	比較的スムーズに 大きな渋滞がない 昔に比べて渋滞が減った 渋滞少ない 渋滞も日常的ではなく、道路も広いところが多いから 渋滞は緩和傾向にある 圏央道ができたことにより渋滞が緩和された	16
アクセス性に関する意見	たまの渋滞はともかく、東西南北へアクセスがいい アクセスが良い 高速道路入口が近い 高速道路のインターがあるから 高速道路icが4箇所ありアクセスが良い	9
その他意見	バスの本数が多い 交通の便がいい 小鮎川や相模川の堤防道路を自転車と歩行者専用として、動力付き乗り物の乗り入れを禁止してほしい。 住宅街は狭いが概ね満足 時々渋滞もあるが、大きな問題はない 特に問題を感じていない、不満を感じていない(類似意見他11票)	32
否定的意見		票数
分野	回答詳細	
渋滞に関する意見	渋滞が多い 時間帯によってやや混雑する 週末渋滞がある 一部渋滞あり 圏央道が開通により市内の渋滞は減少したと思う。ただ場所によっては朝夕の渋滞はひどい。特に橋のある所。 たまに駅前の混雑が気になる。細道が走りにくい	16
道路整備状況に関する意見	歩道が中途半端 歩道が狭い 一方通行が多い 県道の道幅が狭いところがある 駅から遠めのエリアに古くて細い道や通りづらい道があるのが気になる 駅前が整備されているがちょっと離れるとすぐ道が悪い	15
その他意見	買い物に不便 人身事故が多い	2

評価理由：「不満」、「やや不満」回答者

- 厚木市の道路に対する全体評価として「不満」、「やや不満」とした理由を見ると、すべての意見が否定的な意見となり、その中でも、「渋滞」に関する意見が圧倒的に多く、その他では、「道路幅員」、「維持管理」、「歩道・通学路」等に対して一定の意見が挙げられた。

表 厚木市の道路に対する全体評価の理由（「不満」、「やや不満」回答者）

否定的意見		票数
分野	回答詳細	
渋滞に関する意見	渋滞・混雑(他類似意見59票) 渋滞が多い(他類似意見37票) 慢性的な渋滞(他類似意見7票) 渋滞が激しい(他類似意見5票) 朝夕の渋滞(他類似意見4票) 国道246号の渋滞(他類似意見4票) 駅前の渋滞(他類似意見3票) 幹線道路がよく混む(類似意見他1票) 川にかかる橋のところで渋滞することが多い(類似意見他1票) 幹線道路に出る道が渋滞する 幹線道路と市内が交差して渋滞 水引から相模大橋の間など渋滞が多い 相模川の橋等を渡る際に渋滞が酷い 厚木を繋ぐ相模大橋とあゆみ橋の渋滞が酷い 圏央道が出来ても混んでいて使えないのと、金田陸橋は混む。 交通の便は悪くないが、駅周辺の渋滞が著しい 海老名駅から厚着方面に向かう道路がいつも渋滞がひどいから 本厚木駅中心部の混雑が酷い。246の渋滞。相模川があるので橋付近の混雑。 愛甲石田駅前でも混む 渋滞情報が出る道が少ない	178
道路幅員に関する意見	道路が狭い(他類似意見6票) 道幅が狭い道路があり歩行者が道路を歩く事が多い。舗装はされているがまだまだ道が悪い箇所がある。 大通りに出るまでが大変ですとにかく道幅が狭いです。	13
維持管理に関する意見	国道以外は舗装面が悪い 舗装が悪い 凸凹が多い	11
歩道・通学路に関する意見	歩道が狭い(類似意見他2票) 通学路の歩道が狭いところがある 大きなバス通でも歩道がなかったり、歩道があっても狭く危ない道が多いから	11
交通量に関する意見	交通量が多い(他類似意見2票) 工業地帯だけに交通量が多い トラックが多い	9
信号に関する意見	信号渋滞が多い 信号が短いところがある 信号のつながりが悪く、青で出たにもかかわらず 次の信号機近くで赤になり、また、止まる所が10ヶ所も有るから。	8
公共交通に関する意見	バスの本数が少ない(他類似意見3票) バス路線が偏っていて使いづらい	4
その他意見	坂が多い(他類似意見1票) 道がわかりにくい(他類似意見1票) 小田急線の踏切の待ち時間が長い 駐車場が少ない	28

【問 2-2】厚木市の道路に対する評価

＜設問文＞
厚木市の道路に対する“項目ごと”の評価

A. 自動車です市内を移動する際の通行のスムーズさ（あまり渋滞せず快適に走行できる）

■自動車です市内を移動する際の通行のスムーズさに対する評価を見ると、「満足」は約 5%に留まるなど、「やや満足」を合わせた割合は約 30%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 57%を大きく下回る結果となり、通行のスムーズさに対して不満度が高い傾向にある事が確認された。

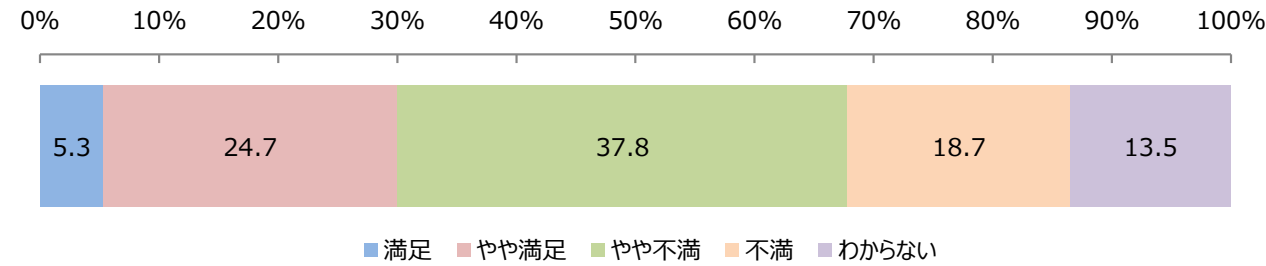


図 自動車です市内を移動する際の通行のスムーズさ
表 自動車です市内を移動する際の通行のスムーズさ

項目	票数	割合
満足	32	5.3
やや満足	148	24.7
やや不満	227	37.8
不満	112	18.7
わからない	81	13.5
全体	600	100.0

B. 自動車です市内を移動する際の安全性（急ブレーキ等が少なく安心して走行できる）

■自動車です市内を移動する際の安全性に対する評価を見ると、「満足」は約 11%、「やや満足」約 37%と合わせて約 48%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 33%を上回る結果となり、自動車です市内移動時の安全性に対し、評価が比較的高い傾向にある事が確認された。

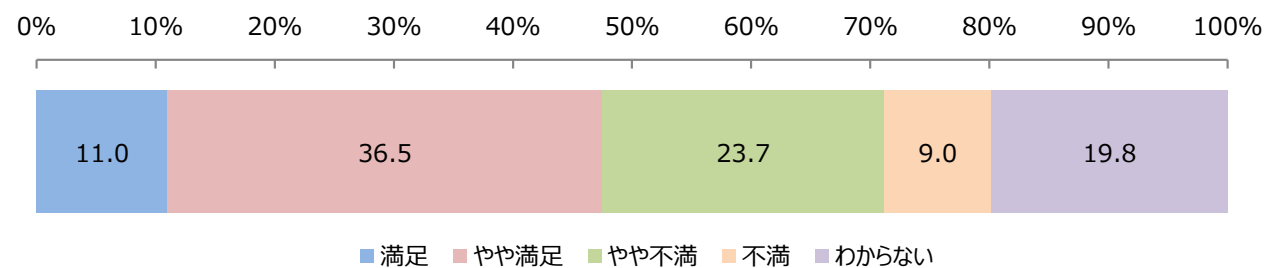


図 自動車です市内を移動する際の安全性
表 自動車です市内を移動する際の安全性

項目	票数	割合
満足	66	11.0
やや満足	219	36.5
やや不満	142	23.7
不満	54	9.0
わからない	119	19.8
全体	600	100.0

C. 最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ（あまり渋滞せず快適に走行できる）

■最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさに対する評価を見ると、「満足」は約 23%、「やや満足」約 33%と合わせて約 55%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 22%を大きく上回る結果となり、インターへのアクセス性に対し、評価が高い傾向にある事が確認された。

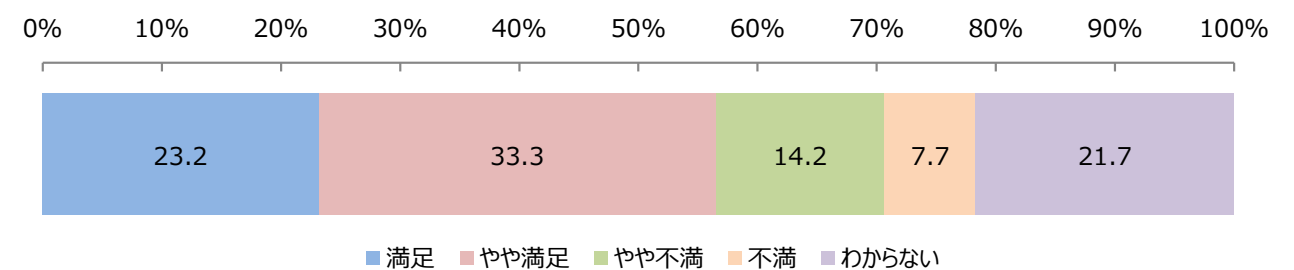


図 最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ
表 最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ

項目	票数	割合
満足	139	23.2
やや満足	200	33.3
やや不満	85	14.2
不満	46	7.7
わからない	130	21.7
全体	600	100.0

D. 路線バスでの通行のスムーズさ（おおよそ時刻表通りに運行）

■路線バスでの通行のスムーズさに対する評価を見ると、「満足」は約 8%、「やや満足」約 26%と合わせて約 33%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 40%を下回る結果となり、路線バスでの通行のスムーズさに対して不満度がやや高い傾向にある事が確認された。

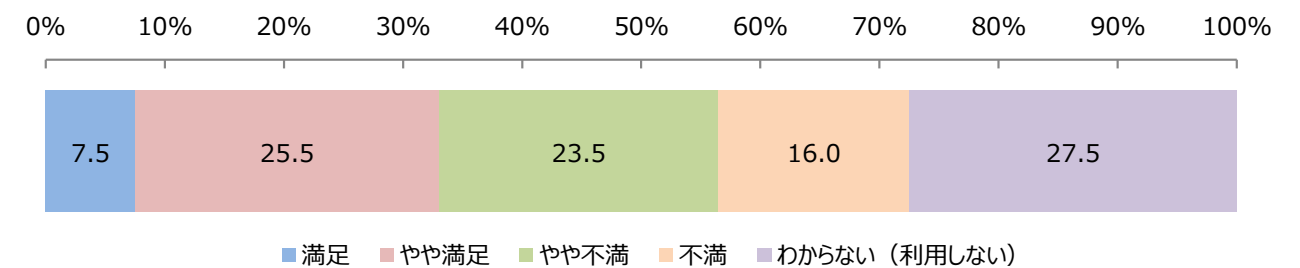


図 路線バスでの通行のスムーズさ
表 路線バスでの通行のスムーズさ

項目	票数	割合
満足	30	7.5
やや満足	102	25.5
やや不満	94	23.5
不満	64	16.0
わからない (利用しない)	110	27.5
全体	400	100.0

E. バス停でのバス待ち環境

■バス停でのバス待ち環境に対する評価を見ると、「満足」は約11%、「やや満足」約28%と合わせて約39%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約34%を若干上回る結果となり、路線バスでの通行のスムーズに対して不満が高いのに対し、バス停でのバス待ち環境に関しては評価がやや高い傾向にある事が確認された。

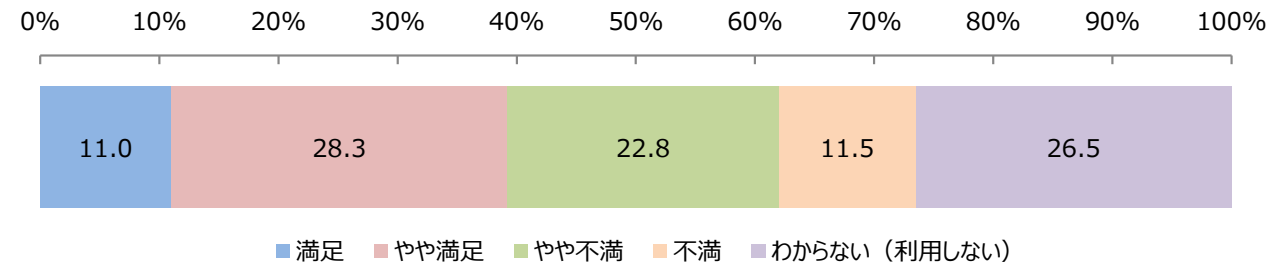


図 バス停でのバス待ち環境

表 バス停でのバス待ち環境

項目	票数	割合
満足	44	11.0
やや満足	113	28.3
やや不満	91	22.8
不満	46	11.5
わからない (利用しない)	106	26.5
全体	400	100.0

F. 自宅周辺・通勤通学先にて自動車を利用する際の安全性（急ブレーキ等が少ない、すれ違いが容易など、安心して走行できる）

■自宅周辺・通勤通学先にて自動車を利用する際の安全性に対する評価を見ると、「満足」は約8%、「やや満足」約30%と合わせて約38%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約44%を若干下回る結果となり、市内移動時の安全性の評価が高い傾向にあるのに対し、自宅や勤務・通学先の自動車利用時の安全性に対する評価は、不満度がやや高い傾向にある事が確認された。

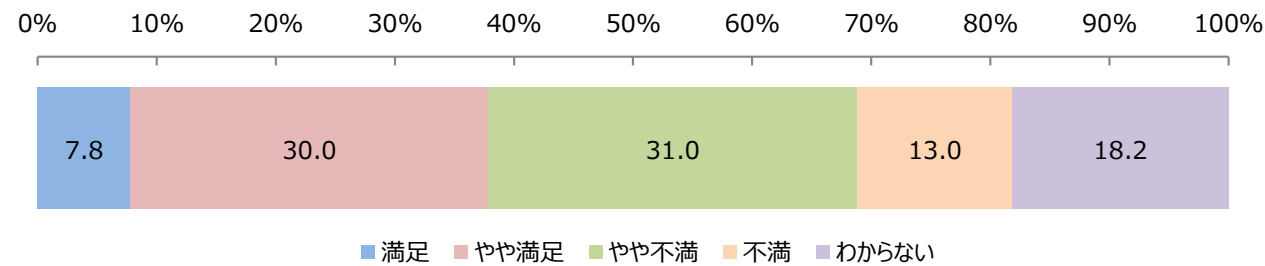


図 自宅周辺にて自動車を利用する際の安全性

表 自宅周辺にて自動車を利用する際の安全性

項目	票数	割合
満足	47	7.8
やや満足	180	30.0
やや不満	186	31.0
不満	78	13.0
わからない	109	18.2
全体	600	100.0

G. 自宅・通勤通学先周辺を散歩する際の安全性（自動車や自転車との事故の危険性が少なく、また、歩道面の段差や凸凹がなく、安心して通行できる）

■自宅・通勤通学先周辺を散歩する際の安全性に対する評価を見ると、「満足」は約12%、「やや満足」約33%と合わせて約45%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約41%を若干上回る結果となり、自宅や勤務・通学先の歩行時の安全性に対しては、評価がやや高い傾向にある事が確認された。

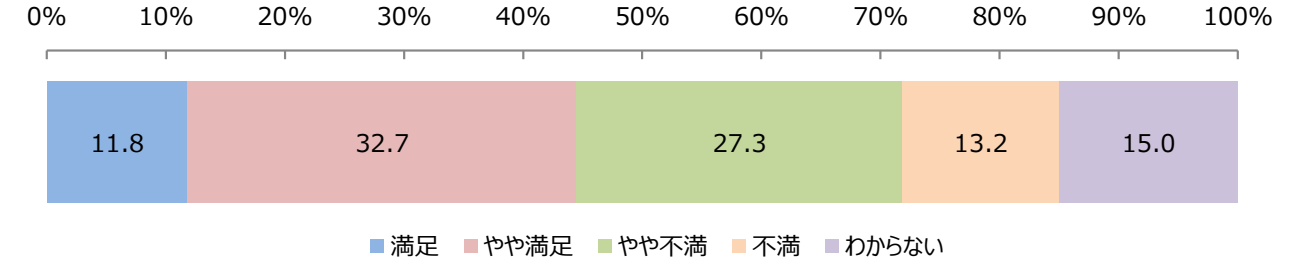


図 自宅周辺を散歩する際の安全性

表 自宅周辺を散歩する際の安全性

項目	票数	割合
満足	71	11.8
やや満足	196	32.7
やや不満	164	27.3
不満	79	13.2
わからない	90	15.0
全体	600	100.0

H. 通勤路や通学路の安全性（自動車や自転車との事故の危険性が少なく、また、歩道面の段差や凸凹がなく、安心して通行できる）

■通勤路や通学路の安全性に対する評価を見ると、「満足」は約9%、「やや満足」約31%と合わせて約40%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約40%とほぼ同数となり、通勤路や通学路の安全性に対しては、評価が分かれている傾向にある事が確認された。

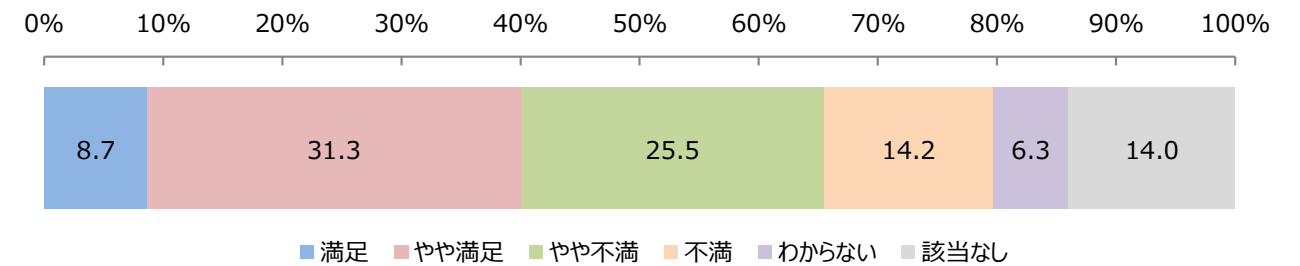


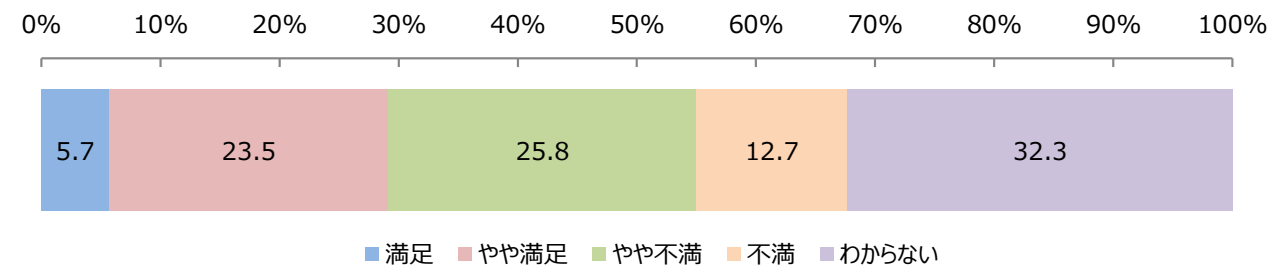
図 通勤路や通学路の安全性

表 通勤路や通学路の安全性

項目	票数	割合
満足	52	8.7
やや満足	188	31.3
やや不満	153	25.5
不満	85	14.2
わからない	38	6.3
該当なし	84	14.0
全体	600	100.0

I. 自宅・通勤通学先周辺にて自転車を利用する際の安全性（自動車や歩行者との事故の危険性が少なく、また、路面の段差や凸凹がなく、安心して通行できる）

■自宅・通勤通学先周辺にて自転車を利用する際の安全性に対する評価を見ると、「満足」は約6%、「やや満足」約24%と合わせて約29%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約39%を下回る結果となり、自転車を利用する際の安全性に対して不満度がやや高い傾向にある事が確認された。



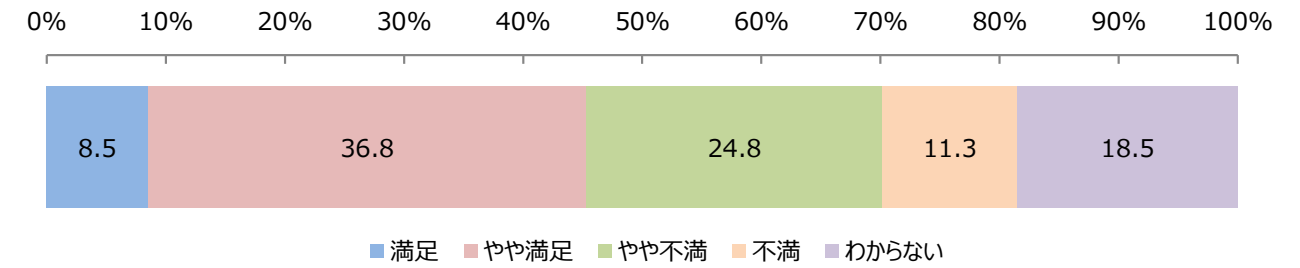
■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

図 自宅周辺にて自転車を利用する際の安全性
表 自宅周辺にて自転車を利用する際の安全性

項目	票数	割合
満足	34	5.7
やや満足	141	23.5
やや不満	155	25.8
不満	76	12.7
わからない	194	32.3
全体	600	100.0

K. 道路の路面状況（道路面に凸凹が少なく、自動車で通行時に振動を感じない）

■道路の路面状況に対する評価を見ると、「満足」は約9%、「やや満足」約39%と合わせて約48%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約36%を上回る結果となり、道路の路面状況に対しては、評価が比較的高い傾向にある事が確認された。



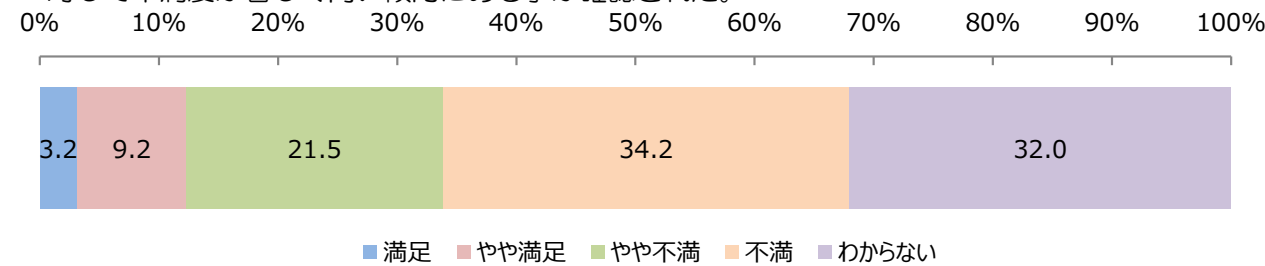
■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

図 道路の路面状況
表 道路の路面状況

項目	票数	割合
満足	51	8.5
やや満足	221	36.8
やや不満	149	24.8
不満	68	11.3
わからない	111	18.5
全体	600	100.0

J. 道路の無電柱化の促進（電柱のない道路整備が着実に進んでいる）

■道路の無電柱化の促進に対する評価を見ると、「満足」は約3%、「やや満足」約9%と合わせて約12%と全項目中最も低く、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約56%を大きく下回る結果となり、無電柱化に対して不満度が著しく高い傾向にある事が確認された。



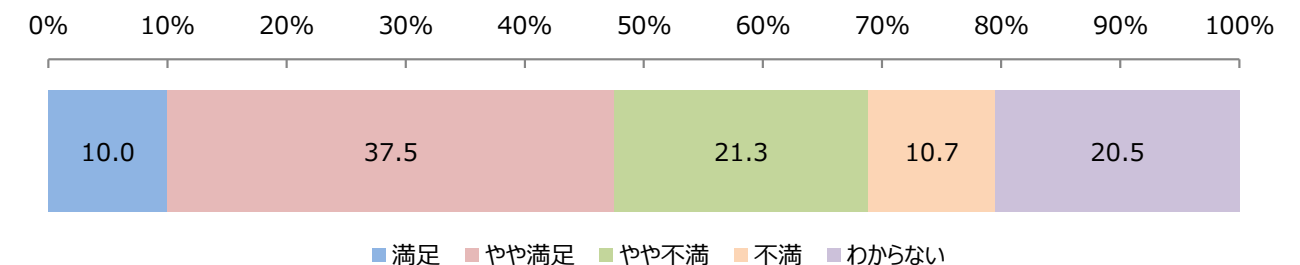
■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

図 道路の無電柱化の促進
表 道路の無電柱化の促進

項目	票数	割合
満足	19	3.2
やや満足	55	9.2
やや不満	129	21.5
不満	205	34.2
わからない	192	32.0
全体	600	100.0

L. 道路空間の緑化（適切に街路樹や植栽が整備されている）

■道路空間の緑化に対する評価を見ると、「満足」は約10%、「やや満足」約38%と合わせて約48%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約32%を上回る結果となり、道路空間の緑化に対しては、評価が比較的高い傾向にある事が確認された。



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

図 道路空間の緑化
表 道路空間の緑化

項目	票数	割合
満足	60	10.0
やや満足	225	37.5
やや不満	128	21.3
不満	64	10.7
わからない	123	20.5
全体	600	100.0

M. 街路樹の管理状況（整備された街路樹や植栽がきちんと手入れされている）

■街路樹の管理状況に対する評価を見ると、「満足」は約 11%、「やや満足」約 34%と合わせて約 45%と、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 33%を上回る結果となり、街路樹の管理状況に対しては、道路空間の緑化と同様、評価が比較的高い傾向にある事が確認された。

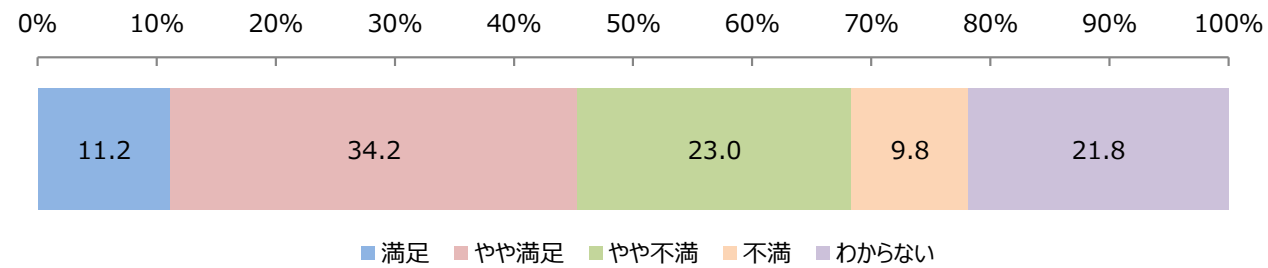


図 街路樹の管理状況
表 街路樹の管理状況

項目	票数	割合
満足	67	11.2
やや満足	205	34.2
やや不満	138	23.0
不満	59	9.8
わからない	131	21.8
全体	600	100.0

O. 道路清掃や花植えなどの美化活動に対する市民参加の制度に参加しますか？

■美化活動に対する市民参加の制度に参加意向を見ると、「進んで参加したい（既に参加）」は約 8%、「参加してみたい」約 15%と合わせて約 22%と、「あまり参加したくない」、「参加したくない」を合わせた割合約 53%の約半数に留まる結果となり、美化活動に対する参加意向はやや低い傾向にある事が確認された。

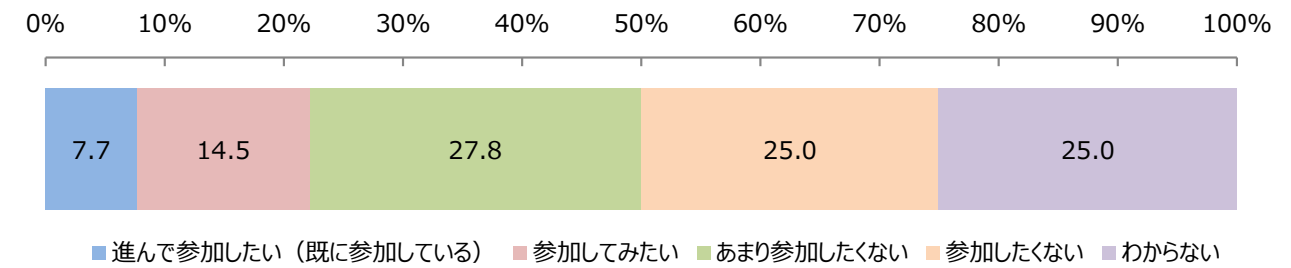


図 道路清掃や花植えなどの美化活動に対する市民参加制度
表 道路清掃や花植えなどの美化活動に対する市民参加制度

項目	票数	割合
進んで参加したい（既に参加している）	46	7.7
参加してみたい	87	14.5
あまり参加したくない	167	27.8
参加したくない	150	25.0
わからない	150	25.0
全体	600	100.0

N. 路面標示（横断歩道は除く）の見やすさや分かりやすさ

■路面標示（横断歩道は除く）の見やすさや分かりやすさに対する評価を見ると、「満足」は約 10%、「やや満足」約 44%と合わせて約 54%と過半数を超え、「不満」、「やや不満」を合わせた割合約 24%を上回る結果となり、路面標示（横断歩道は除く）の視認性に関しては、評価が非常に高い傾向にある事が確認された。

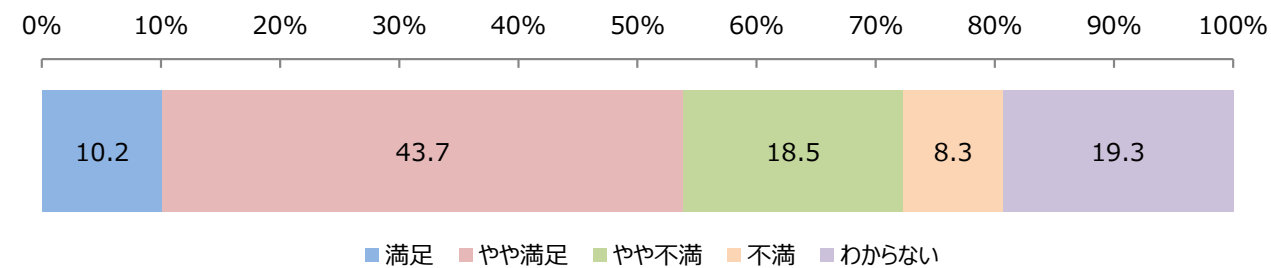


図 路面標示
表 路面標示

項目	票数	割合
満足	61	10.2
やや満足	262	43.7
やや不満	111	18.5
不満	50	8.3
わからない	116	19.3
全体	600	100.0

- 全項目を集約すると以下のように、「満足」への回答が最も多いのが『最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ』が約23%で突出して多く、次いで『自宅・通勤通学先周辺を散歩する際の安全性』、『街路樹の管理状況』、『バス停でのバス待ち環境』、『自動車で市内を移動する際の安全性』、『道路空間の緑化』、『路面標示の見やすさや分かりやすさ』が約10%で続いている。
- 一方で、「不満」への回答が最も多いのが『道路の無電柱化』が約34%で突出して多く、次いで『自動車で市内を移動する際の通行のスムーズさ』が約19%、『路線バスでの通行のスムーズさ』が約16%で続いている。

- 「満足：5点～わからない：3点～不満：1点」を配点し、5点満点で満足度を算定した結果が以下のようになり、『最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ』が3.5で最も満足度が高い。
- また、『路面標示の見やすさや分かりやすさ』が3.3と2番目に多いとともに、『道路の路面状況』や『道路空間の緑化』、『街路樹の管理状況』など、維持管理関連の項目の満足度が高い傾向にある。
- 一方で、『道路の無電柱化』の満足度が2.3と、突出して評価が低い状況。
- また、『自動車で市内を移動する際のスムーズさ』や『路線バスでの通行のスムーズさ』など、渋滞や走行性に関する項目の満足度が低い傾向にある。

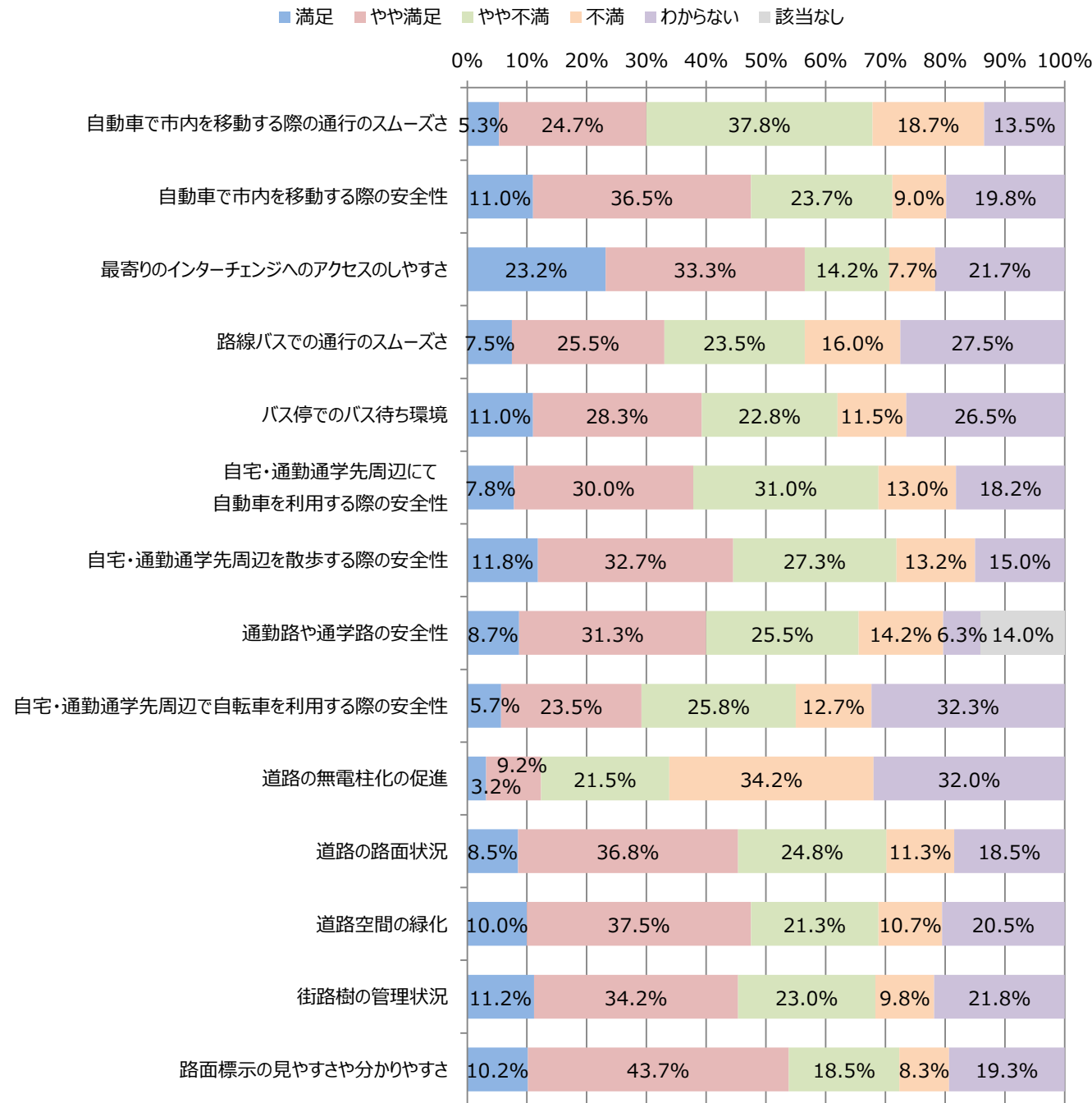


図 各項目の評価構成

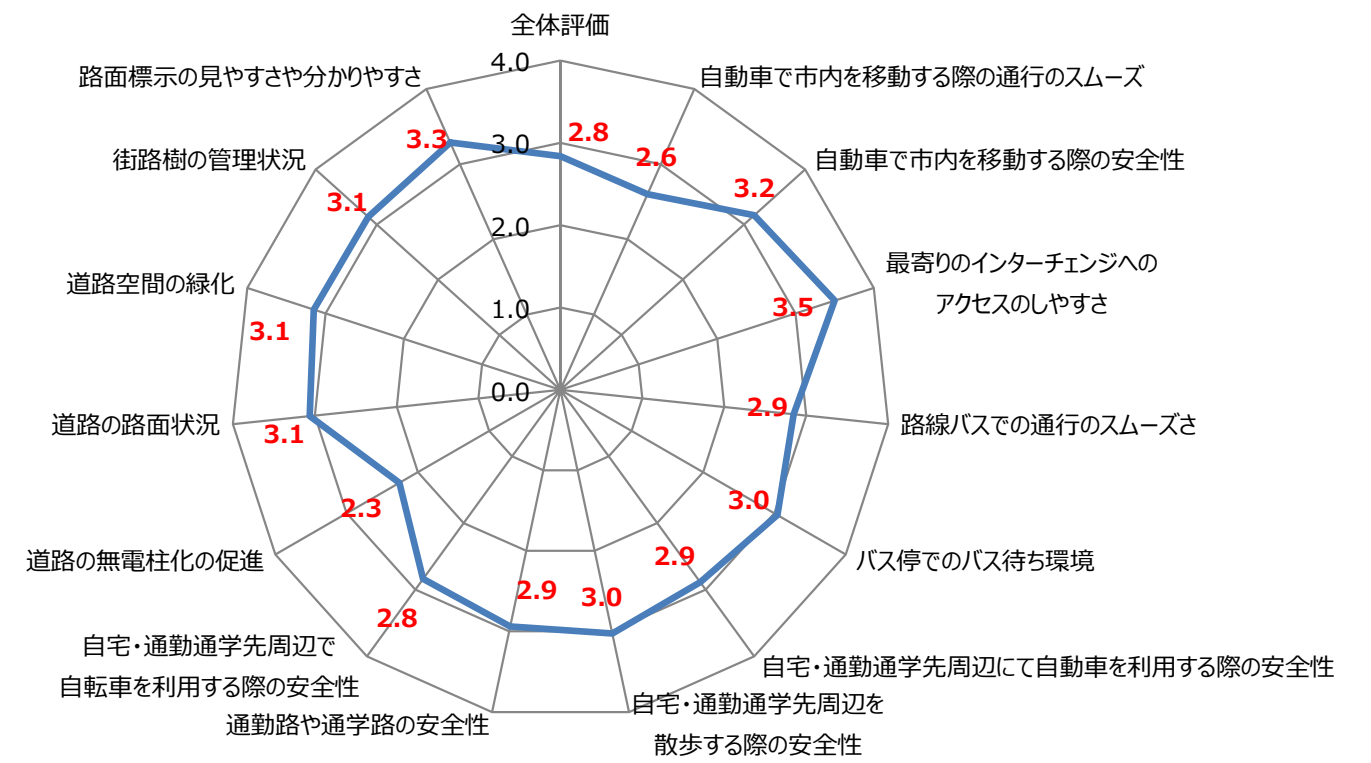


図 各項目の満足度

【問 2-3】

＜設問文＞
厚木市の道路について特に「進んでいると感じている項目」「遅れていると感じている項目」（3つまで回答）

- 厚木市の道路について特に進んでいると感じている項目については、『最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ』が約半数で最も多く、『自動車市内を移動する際の安全性』や『道路空間の緑化』、『街路樹の管理状況』、『路面標示の見やすさや分かりやすさ』、『美化活動に対する市民参加の制度』、『路線バスでの通行のスムーズさ』に対して、20%以上の方が進んでいると感じている。
- 厚木市の道路について特に遅れていると感じている項目については、『道路の無電柱化』、『自動車市内を移動する際の通行のスムーズさ』が40%前後で最も多く、次いで『路線バスでの通行のスムーズさ』や『バス停でのバス待ち環境』に対して、25%前後の方が遅れていると感じている。

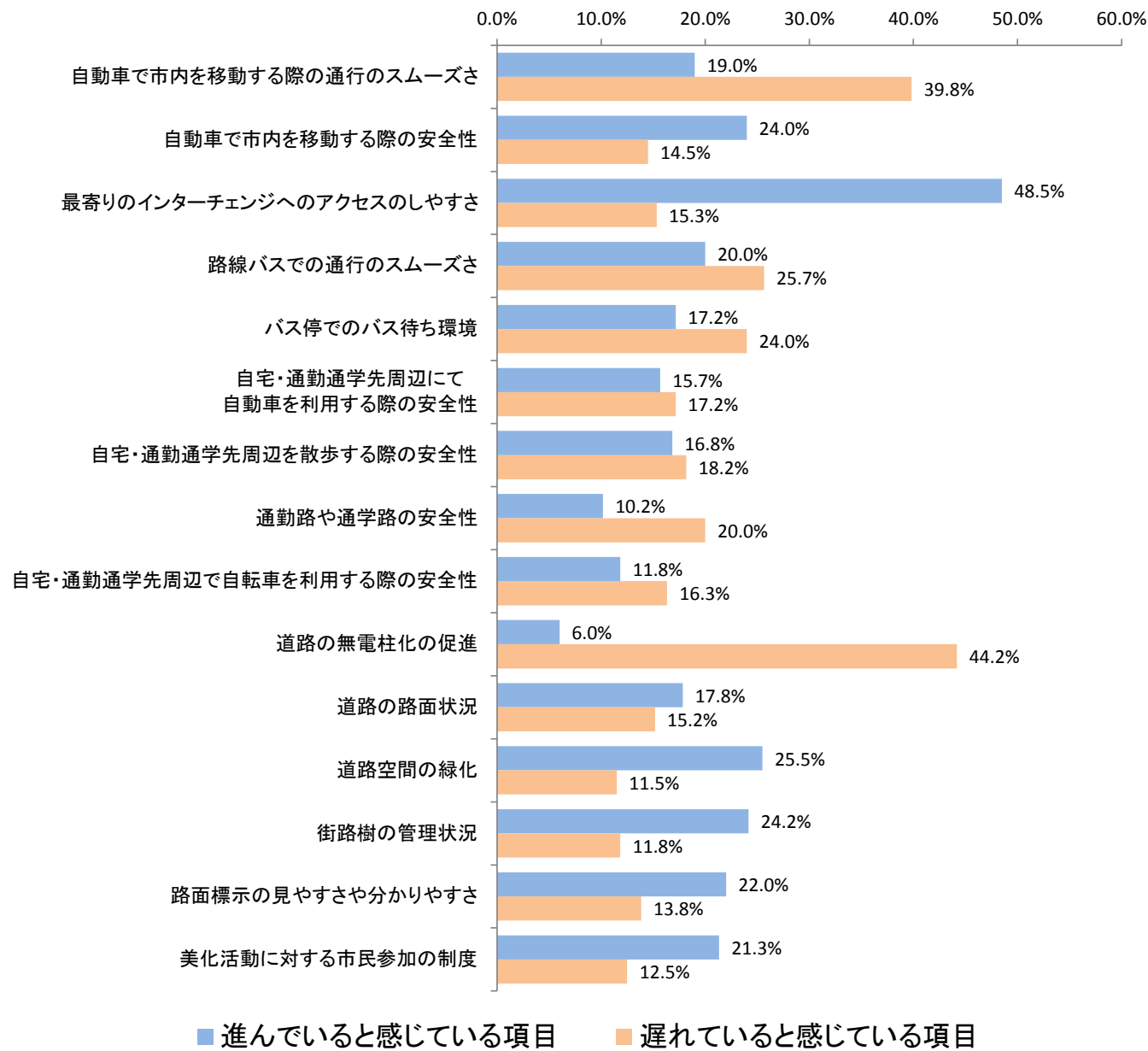


図 厚木市の道路について特に「進んでいると感じている項目」、「遅れていると感じている項目」

表 厚木市の道路について特に「進んでいると感じている項目」「遅れていると感じている項目」

	1.進んでいると感じている項目		2.遅れていると感じている項目	
	票数	割合	票数	割合
自動車市内を移動する際の通行のスムーズさ（あまり渋滞せず快適に走行できる）	114	19.0	239	39.8
自動車市内を移動する際の安全性（急ブレーキ等が少なく安心して走行できる）	144	24.0	87	14.5
最寄りのインターチェンジへのアクセスのしやすさ（あまり渋滞せず快適に走行できる）	291	48.5	92	15.3
路線バスでの通行のスムーズさ（おおよそ時刻表通りに運行）	120	20.0	154	25.7
バス停でのバス待ち環境	103	17.2	144	24.0
自宅周辺または通勤通学先にて自動車を利用する際の安全性（急ブレーキ等が少ない、すれ違いが容易など、安心して走行できる）	94	15.7	103	17.2
自宅周辺または通勤通学先を散歩する際の安全性（自動車や自転車との事故の危険性が少なく、また、歩道面の段差や凸凹がなく、安心して通行できる）	101	16.8	109	18.2
通勤路や通学路の安全性（自動車や自転車との事故の危険性が少なく、また、歩道面の段差や凸凹がなく、安心して通行できる）	61	10.2	120	20.0
自宅周辺または通勤通学先にて自転車を利用する際の安全性（自動車や歩行者との事故の危険性が少なく、また、路面の段差や凸凹がなく、安心して通行できる）	71	11.8	98	16.3
道路の無電柱化の促進（電柱のない道路の整備が着実に進んでいる）	36	6.0	265	44.2
道路の路面状況（道路面に凸凹が少なく、自動車通行時に振動を感じない）	107	17.8	91	15.2
道路空間の緑化（適切に街路樹や植栽が整備されている）	153	25.5	69	11.5
街路樹の管理状況（整備された街路樹や植栽がきちんと手入れされている）	145	24.2	71	11.8
路面標示（横断歩道は除く）の見やすさや分かりやすさ	132	22.0	83	13.8
道路清掃や花植えなどの美化活動に対する市民参加	128	21.3	75	12.5
全体	1800	100.0	1800	100.0

問 3. 今後の取組の優先性

<設問文>

厚木市の交通やまちづくりに関する課題解消に向けた整備が引き続き求められていますが、どのような取組を優先的に行うべきだと思いますか。

- 今後の取組の優先性については、『地域内を移動する道路の渋滞対策』や『交差点の渋滞対策』、『駅へのアクセス道路の渋滞対策』など渋滞に関する取組に対し優先性が高いと評価している。
- また、『地域内を移動する道路の安全対策』や『歩道整備』など安全性に関する取組に対しても優先性が高いと評価している。
- 一方で、不満が最も高かった『無電柱化の推進』については、優先性に対する回答は比較的低い状況となっている。

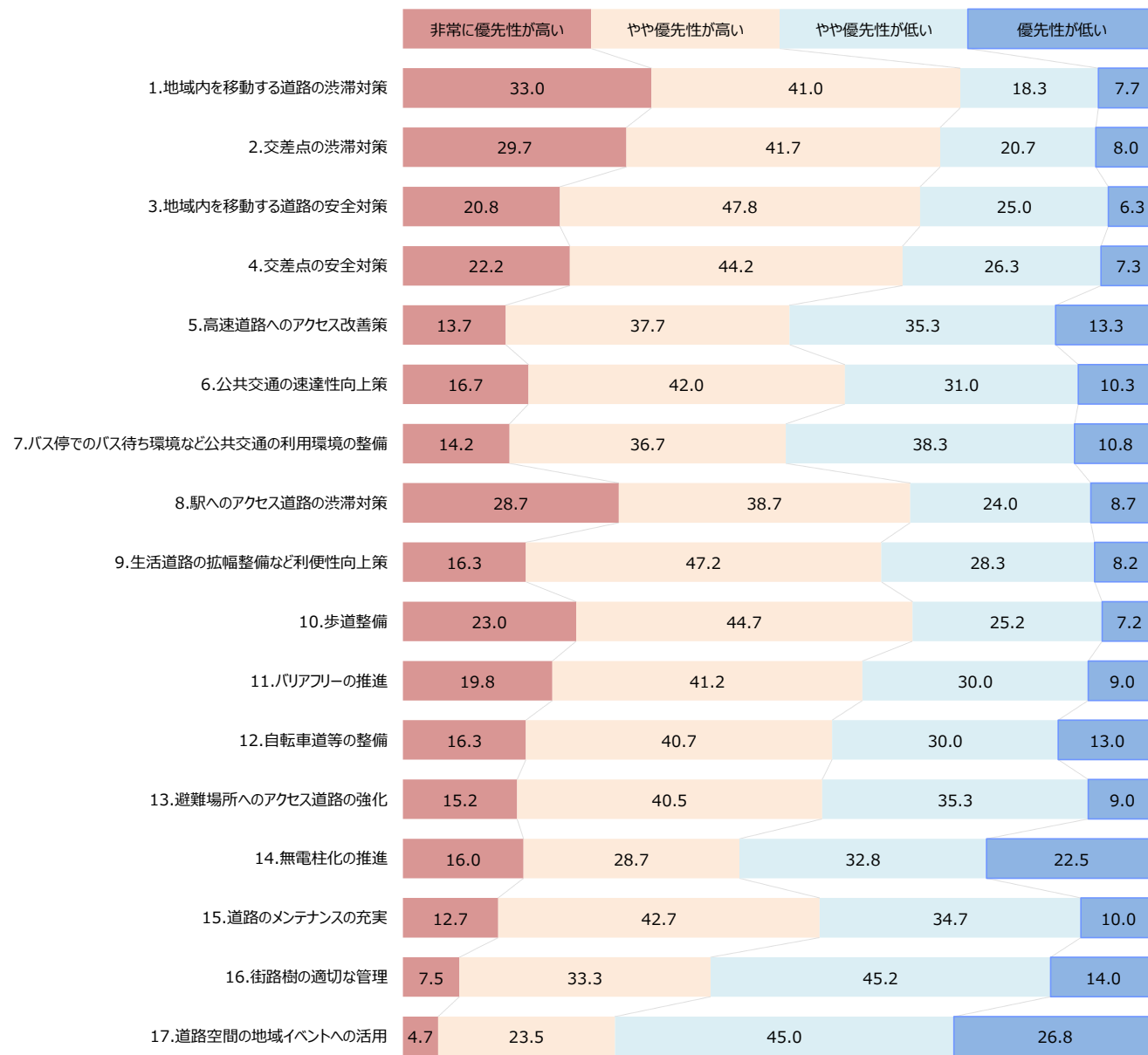


図 厚木市の交通やまちづくりに関する課題解消に向けた整備の優先性

表 厚木市の交通やまちづくりに関する課題解消に向けた整備の優先性

	全体	非常に優先性が高い	やや優先性が高い	やや優先性が低い	優先性が低い
1.地域内を移動する道路の渋滞対策	600	198	246	110	46
2.交差点の渋滞対策	600	178	250	124	48
3.地域内を移動する道路の安全対策	600	125	287	150	38
4.交差点の安全対策	600	133	265	158	44
5.高速道路へのアクセス改善策	600	82	226	212	80
6.公共交通の速達性向上策	600	100	252	186	62
7.バス停でのバス待ち環境など公共交通の利用環境の整備	600	85	220	230	65
8.駅へのアクセス道路の渋滞対策	600	172	232	144	52
9.生活道路の拡幅整備など利便性向上策	600	98	283	170	49
10.歩道整備	600	138	268	151	43
11.バリアフリーの推進	600	119	247	180	54
12.自転車道等の整備	600	98	244	180	78
13.避難場所へのアクセス道路の強化	600	91	243	212	54
14.無電柱化の推進	600	96	172	197	135
15.道路のメンテナンスの充実	600	76	256	208	60
16.街路樹の適切な管理	600	45	200	271	84
17.道路空間の地域イベントへの活用	600	28	141	270	161